

日本史 B

(解答番号 ~)

第1問 歴史を考える手がかりとしての文化財に関して述べた次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 12)

A 博物館や古い寺社などに出かけると、大切に保存された貴重な文化財を目にすることができ、歴史の実際に触れる思いがする。

図1・2を見てみよう。いずれも7世紀に制作されたと考えられる有名な仏教彫刻である。現在、図1の像は韓国ソウルの国立中央博物館、図2の像は京都の広隆寺で、それぞれ所蔵・公開されている。両者がとてもよく似ているのは、

Ⓐ 当時の東アジアの歴史が関連しあって推移していたからだろう。また図2の像は、Ⓑ 日本の伝統文化や歴史を再評価しようとする動きのなかで、近代に至って真っ先に注目された。なお二つの像は、両国でそれぞれ国宝に指定されている。

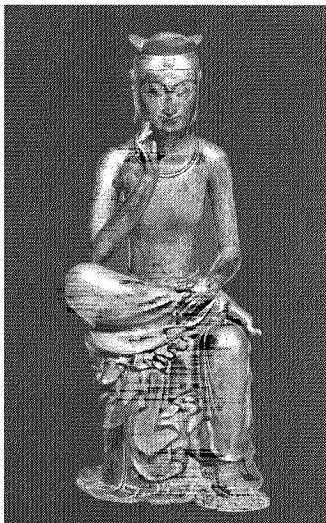


図 1

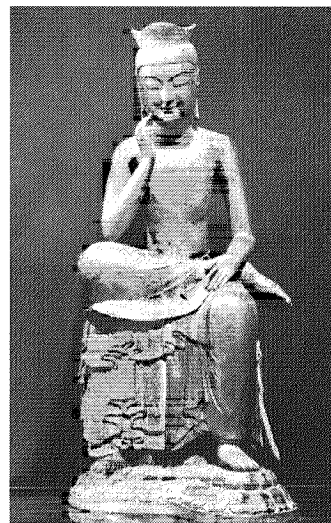


図 2

問 1 図1・2の像について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① これらの像は、^{めいそう}瞑想する姿を表現している。
- ② これらの像は、^{きとう}加持祈禱を受ける姿を表現している。
- ③ これらの像は、坐禅を組む姿を表現している。
- ④ これらの像は、修験道に励む姿を表現している。

問 2 下線部㉔に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 滅亡した百済からは、貴族たちが倭(日本)に亡命した。
- ② 朝鮮半島の政治的統一に相前後して、日本列島でも中央集権国家の形成が進んだ。
- ③ 齐明天皇は、中国皇帝に朝貢して「親魏倭王」と認められた。
- ④ 古代の日本では、官僚制などを整えるため、中国の律令法を取り入れた。

問 3 下線部㉕に関連して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 3

- Ⅰ 塙保己一は、日本の古典史料の刊行を進めた。
- Ⅱ 柳田国男は、民間伝承を研究し、日本民俗学の基礎をすえた。
- Ⅲ 岡倉天心らは、日本美術院を結成して伝統美術の発展をはかった。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ
- ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ
- ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

日本史B

B 文化財保護政策は第二次世界大戦後に大きく進展した。1949年に白鳳文化の絵画作品が焼損したのをきっかけに、翌年文化財保護法が制定されたが、この年には北山文化の遺産である が焼失している。高度経済成長の時代には、開発にともなう埋蔵文化財の破壊が問題になる一方、1972年には 壁画の発見が関心を集めた。

この文化財保護法にもとづく国宝にどのような歴史資料が指定されるかが注目される。近年では、㉔ 農民自らが書いた紀伊国阿^{あてがわ}氏河^{こうやさん}荘民の訴状を含む高野山^{もんじよ}文書や、永仁の徳政令などを含むことでも知られる東寺^{とうじひやくごうもんじよ}百合文書など、広範な人々が残した文字史料が国宝に指定された。さらには、㉑ 近代の文化財や世界遺産への関心も高まっており、人類全体の未来を展望するために文化財をいかして行く視点が求められている。

問 4 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|-------|---|---|----|---|-------|
| ① | ア | 銀閣 | イ | 法隆寺金堂 | ② | ア | 銀閣 | イ | 高松塚古墳 |
| ③ | ア | 金閣 | イ | 法隆寺金堂 | ④ | ア | 金閣 | イ | 高松塚古墳 |

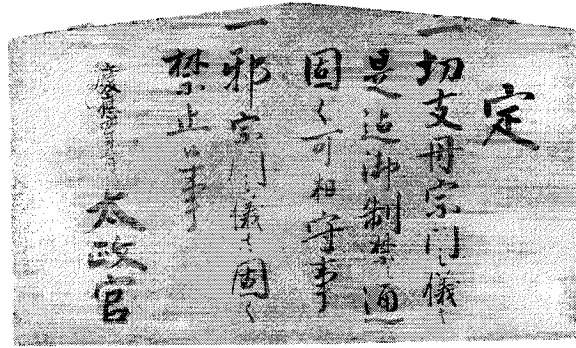
問 5 下線部㉔の史料の写真として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

5

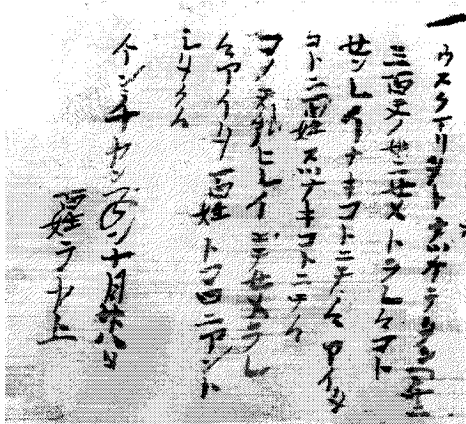
①



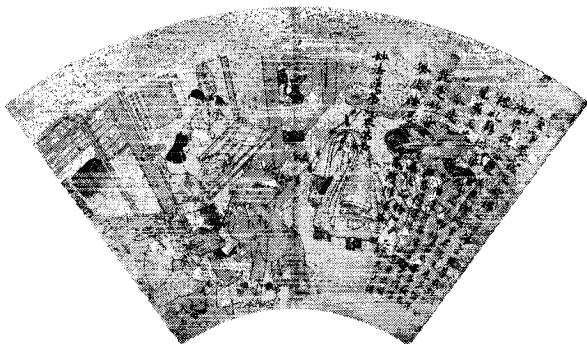
②



③



④



日本史B

問 6 下線部①に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

6

X 原爆ドームは、核兵器投下の事実を示す戦争の遺跡である。

Y 世界遺産とは、遺跡・文化財や自然環境が人類共通の遺産として登録されたものである。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史B

第2問 古代の外交と政治に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 18)

A 6世紀末に隋が中国の南北朝を統一すると、倭王は遣隋使を派遣して、中国との通交を再開した。隋に代わって唐が興ると、630年に最初の遣唐使を派遣し、その後、9世紀に至るまで、㉔さまざまな人物が使節の一員として海を渡った。なかでも留学生・学問僧は中国の進んだ制度や文化を学び、大量の書籍や文物を持ち帰って、日本の律令国家形成に大きく寄与した。

608年に隋へ渡った高向玄理・南淵請安、653年に唐へ渡った道昭らは、政治・宗教の方面で大きな足跡を残した。717年に入唐した吉備真備と玄昉は、帰国後、政界に進出して、㉕聖武天皇の時代のさまざまな施策に関与した。

日本から唐に向かう海上ルートはいくつかあったが、東アジア情勢の影響もあって、㉖時期によって異なる航路が利用された。

問1 下線部㉔に関連して、隋または唐に渡った経歴を持つ人物に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

7

Ⅰ 能書家としても知られたこの人物は、伴健岑とともに「国家を傾けむと謀りけり」として、流罪に処せられた。

Ⅱ 遣唐使の書記官として入唐したこの人物は、「楚^{しもと}取る 五十^{さと}戸^{とおさ}良が声は寝屋^{ねやど}処まで 来立ち呼ばひぬ」などと詠んで、農民の生活を描写した。

Ⅲ 学問僧として海を渡ったこの人物は、「初めて戸籍・計帳・班田収授の法を造れ」と宣言したとされる政権において、国博士に登用された。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ

② Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ

③ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ

④ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 2 下線部㉑に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 8

- a 百万町歩開墾計画が立てられた。
- b 墾田永年私財法が制定された。
- c 国分寺建立の詔が出された。
- d 養老律令が施行された。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 3 下線部㉒に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① 7世紀には、朝鮮半島沿岸を通る北路がとられた。
- ② 8世紀には、新羅との関係が改善されたので南路をとった。
- ③ 南路をとった場合には、中国江南の明州などに到着した。
- ④ 北路と比べて南路には、航海上の危険性が大きかった。

日本史B

B 8世紀後半，唐では大きな戦乱があいつぎ，社会不安が増大するなかで，密教などの新仏教がさかんになった。804年に入唐した最澄と空海は，こうした新仏教の教えを日本にもたらし，天皇や貴族の保護を受けて次第に影響力を増していった。その後も，最澄や空海の弟子が唐に派遣され，こうした学問僧たちの努力によって，①新しい仏教の基礎が築かれた。この時期は律令制の再編も進められ，嵯峨天皇が設けた **ア** は，政治運営上，重要な役割を果たすようになった。

遣唐使は，唐の衰退と渡航の危険を理由に894年に停止されたが，唐や新羅の商船が来航し，貿易を行っていた。10世紀後半には **イ** の商船がしばしば来航し，②大宰府などへ唐物をもたらすとともに，渡航する日本僧を同乗させたりした。

問4 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

- ① ア 蔵人頭 イ 宋 ② ア 蔵人頭 イ 元
③ ア 摂政 イ 宋 ④ ア 摂政 イ 元

問5 下線部①に関連して，9世紀における新仏教の動きに関して述べた次の文 a～d について，正しいものの組合せを，下の①～④のうちから一つ選べ。

11

- a 高野山に金剛峰寺が開かれた。
b 上皇や貴族がしばしば熊野へ参詣した。
c 源信によって『往生要集』が著された。
d 天台宗に密教が本格的に取り入れられた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 6 下線部㉔に関連して、大宰府にかかわる出来事について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 大宰府に属して、九州の防備にあたる衛士が置かれた。
- ② 沿海州の刀伊(女真族)が来襲し、大宰府軍に撃退された。
- ③ 藤原純友が乱を起こし、大宰府を焼き討ちにした。
- ④ 藤原広嗣が勢力回復のため、大宰府で挙兵した。

日本史B

第3問 中世の政治や宗教に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

A ㉓鎌倉幕府第3代将軍源実朝が甥の公暁に暗殺された事件は、朝廷と幕府の関係を不安定なものとした。次いで1221年に後鳥羽上皇がアの追討を諸国に命じたことにより、承久の乱が勃発した。承久の乱で後鳥羽上皇を破り、全国的に支配権を強化した鎌倉幕府は、それまで以上に多くの訴訟を裁かなければならなくなったため、裁判の基準となる御成敗式目を新たに定めた。

1333年に鎌倉幕府が打倒された後、㉔後醍醐天皇によって京都に樹立された政権に対し、1335年、足利尊氏が反旗をひるがえした。翌年に京都を制圧した尊氏は、当面の政治方針である建武式目を制定したが、尊氏がイの光明天皇を擁立して幕府を開いた後も、武家政権の基本法典としての御成敗式目の権威と効力は長く存続した。

問1 空欄ア イに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① ア 北条義時 イ 持明院統
- ② ア 北条義時 イ 大覚寺統
- ③ ア 北条時政 イ 持明院統
- ④ ア 北条時政 イ 大覚寺統

問2 下線部㉓の事件より以後の出来事として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 評定衆の設置
- ② 宝治合戦
- ③ 新補率法の制定
- ④ 和田義盛の滅亡

問 3 下線部①に関して述べた次の文X～Zについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 15

X この政権で、記録所がはじめて設置された。

Y この政権が置いた雑訴決断所は、所領関係の裁判を扱った。

Z この政権の樹立後も、それまでの守護制度が廃止されることはなかった。

- ① X 正 Y 正 Z 誤 ② X 正 Y 誤 Z 誤
③ X 誤 Y 正 Z 正 ④ X 誤 Y 誤 Z 正

日本史B

B 鎌倉時代になると、㉔浄土宗など鎌倉新仏教と総称される諸宗派が布教活動を展開した。しかし、旧来の仏教勢力からの迫害・攻撃や、幕府などからの弾圧を受けたことにより、鎌倉時代における新仏教の社会的広がりは、いまだ不十分なものとどまっていた。

室町・戦国時代には、そのような状況に大きな変化がみられた。浄土真宗(一向宗)は、北陸地方などの農村社会で布教活動を広範に展開した。禅宗では、五山派が幕府とともに衰退する一方で、㉕林下とよばれる諸派が、地方の武士や民衆の間で活発な布教活動を進めた。他方、東国で発展した日蓮宗は京都へ進出し、㉖日親は、将軍足利義教に提出する目的で『立正治国論』を執筆するなど、精力的な布教活動で多くの信者を獲得した。

問 4 下線部㉔に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① この宗派を開いた人物の著作に、『正法眼蔵』がある。
- ② この宗派では、踊念仏を布教の手段に用いた。
- ③ この宗派の中心となった寺院に、知恩院がある。
- ④ この宗派では、戒律を重視して旧仏教を改革した。

問 5 下線部㉕について、林下の諸派の中心となった寺院と、その寺院の属した宗派との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 妙心寺 — 臨済宗
- ② 妙心寺 — 曹洞宗
- ③ 円覚寺 — 臨済宗
- ④ 円覚寺 — 曹洞宗

問 6 下線部㉔に関連して、日親が活動した時代における室町幕府の政治について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

18

- ① 幕府の圧倒的な軍事力を背景に、南北朝の合一がなされた。
- ② 有力守護大名である山名氏清が、将軍に討たれた。
- ③ 三好長慶の家臣である松永久秀が、幕府政治に深く関与した。
- ④ 将軍が、有力守護大名である赤松満祐に殺害された。

日本史B

第4問 近世の人物に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 17)

A 1604年に生まれた **ア** は、自らの武力で天下を掌握した祖父や父と異なり、生まれながらに将軍の孫であった。彼は、20歳(数え年)のとき、父を継いで将軍職に就いたが、政治の実権は大御所となった父が握っていた。彼が自身で本格的に政治を行ったのは、その9年後に父が没してからであった。

自ら実権を握った彼は積極的に政治を主導し、このころまでに、 **イ** の制度など、幕府の基礎となる多くの制度が確立した。㉑ 対外関係の枠組みが整ったのもこの時期であった。

彼は祖父や父のように大御所となることなく、48歳で没するまで将軍の地位にあった。その没後には、彼の幼い息子が大御所の後ろ盾がないままに将軍となり、㉒ 代替りにともなって幕府権力には一時的な危機がおとずれた。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **19**

- ① ア 徳川家光 イ 五大老 ② ア 徳川家光 イ 老中
③ ア 徳川秀忠 イ 五大老 ④ ア 徳川秀忠 イ 老中

問2 下線部㉑について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **20**

- ① キリスト教禁圧の徹底をはかり、ポルトガル人を追放した。
② 日本人の海外渡航を禁止し、すでに海外にいる者の帰国も禁じた。
③ 海舶互市新例を出して、長崎の貿易額を制限した。
④ オランダ商館を長崎に移した。

問 3 下線部①の状況下に起こった事件について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 尊号一件をめぐる、幕府と朝廷の関係が緊張した。
- ② 国学者の生田万が、越後国柏崎の代官所を襲撃した。
- ③ 通商を拒否され、ロシア軍艦が紛争を起こした。
- ④ 兵学者の由井正雪が、幕府転覆を企てた。

日本史B

B 1622年に伊勢国松坂(三重県松阪市)で生まれた **ウ** は、はじめ兄が江戸で営んでいた呉服店で働いて経験を積み、のちに松坂に戻って金融業を中心にして富を蓄積した。

1673年に彼は江戸に越後屋呉服店を開業すると、息子たちをその経営に当たらせた。一方、高級織物の産地であった **エ** には仕入れ店を設けて、◎江戸店に供給する呉服を確保した。

彼は越後屋の開業にあたって「現金(銀)掛け値無し」という経営方針を打ち立てた。当時としては画期的なこの商法は人々に歓迎され、越後屋は大きく発展した。さらに三都に両替店も展開し、のちに大財閥に発展する一族の基礎を築いた彼は、1694年にその生涯を閉じた。

問 4 空欄 **ウ** **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **22**

- ① ウ 三井高利 エ 京 都
- ② ウ 三井高利 エ 大 坂
- ③ ウ 鴻池善右衛門 エ 京 都
- ④ ウ 鴻池善右衛門 エ 大 坂

問 5 下線部◎に関連して、江戸と上方との経済的な関係について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **23**

- ① 江戸ではおもに銀貨が、上方ではおもに金貨が使われた。
- ② 菱垣廻船が上方の商品を江戸に運んだ。
- ③ 上方の商品を取り扱う商人たちは、江戸で二十四組問屋を結成した。
- ④ 木綿や菜種は、江戸周辺でさかんに生産されて上方に送られた。

問 6 ウ の人物が生きた時代の出来事を述べた次の文X～Zについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 24

X シャクシャインに率いられたアイヌの人々が松前藩と戦った。

Y 山崎闇斎が、儒教(朱子学)と神道を融合させて垂加神道を開いた。

Z 高山右近の旧領である天草・島原で大規模な一揆が起こった。

① X 正 Y 正 Z 誤 ② X 正 Y 誤 Z 誤

③ X 誤 Y 正 Z 正 ④ X 誤 Y 誤 Z 正

日本史B

第5問 近代の政治に関する次の文章を読み、下の問い(問1～4)に答えよ。

(配点 12)

自由民権運動は、激化諸事件とそれに対する弾圧のくり返し、自由党の解党、立憲改進黨党首の脱党という事態の中で1880年代半ばには一時衰退した。しかし、1890年の国会開設を控えて、㉔もとの自由党や立憲改進黨の人々は、再び団結して国会開設に備えようとする運動を起こした。1886年に旧自由党の星亨が提唱したあと、が受け継いだ大同団結運動である。

この翌年には条約改正交渉の失敗を機に㉕三大事件建白運動が起こった。条約交渉の失敗は、欧化政策の象徴でもあった鹿鳴館外交の担当者である外相の失策を意味した。この政府批判の運動に対しても、政府は弾圧を加えたが、憲法発布が近づくと、㉖民権派の人々は再び活気を取り戻し、初期議会を迎えたのである。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 後藤象二郎 イ 陸奥宗光
- ② ア 後藤象二郎 イ 井上馨
- ③ ア 片岡健吉 イ 陸奥宗光
- ④ ア 片岡健吉 イ 井上馨

問 2 下線部㉔に関連して述べた次の文X～Zについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 26

X 自由党は、立志社や愛国社の流れをくむグループを中心に結成された。

Y 立憲改進黨は植木枝盛を党首として、イギリス流の議院内閣制を主張した。

Z 河野広中らは立憲帝政党を結成し、政府支持を表明した。

- ① X 正 Y 誤 Z 正 ② X 正 Y 誤 Z 誤
 ③ X 誤 Y 正 Z 正 ④ X 誤 Y 正 Z 誤

問 3 下線部㉕の三大事件建白運動の内容について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 地租軽減などを内容とする負担の軽減を主張した。
 ② 厳しい弾圧を受けた言論集会の自由な開催を主張した。
 ③ 官有地に編入された旧入会地の返還を要求した。
 ④ 政府による外交失策を回復し、対等条約の締結を求めた。

問 4 下線部㉖に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 28

I 政府は詔勅により、民党の反対を抑え、予算を成立させた。

II 第1回帝国議会では、自由党の一部が予算成立に協力した。

III 民権派の再結集に対して、政府は超然主義の立場を声明した。

- ① II — I — III ② II — III — I
 ③ III — I — II ④ III — II — I

日本史B

第6問 近現代の社会に関する次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 23)

A 第一次世界大戦から1920年代にかけての時期は、都市社会を舞台として現代の生活や文化の原型が姿を現した時代であった。この時期には、俸給生活者(サラリーマン)の増大などを背景として、都市の生活様式に大きな変化がはじまり、㉔洋装や洋食が社会的に広がりを持つようになった。

都心部にはコンクリートを用いた近代的なビルディングが出現し、特に大都市では **ア** が発展して、都市住民の消費生活に重要な役割を果たすようになった。

文化の面でも、新聞や雑誌が大衆化し、 **イ** の『大菩薩峠』に代表される大衆文学(大衆小説)が登場して人気を博するようになった。また、㉕映画やレコードが広く愛好されるようになり、新たな娯楽メディアもあいついで登場した。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

- | | |
|---------------------|--------|
| ① ア デパート | イ 中里介山 |
| ② ア デパート | イ 森嶋外 |
| ③ ア スーパー(スーパーマーケット) | イ 中里介山 |
| ④ ア スーパー(スーパーマーケット) | イ 森嶋外 |

問 2 下線部㉔について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ
 選べ。 30

- ① この時期の洋食の広がりにより、米の減反政策がとられるようになった。
- ② 当時の人々に洋食として広がったものの一つに、カレーライスがある。
- ③ 当時の女性は、ほとんどが洋服姿であった。
- ④ この時期の洋装の広がりの中で、軍隊でもはじめて洋服が採用された。

問 3 下線部㉕に関連して、第二次世界大戦以前のメディアの発達に関して述べた
 次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④の
 うちから一つ選べ。 31

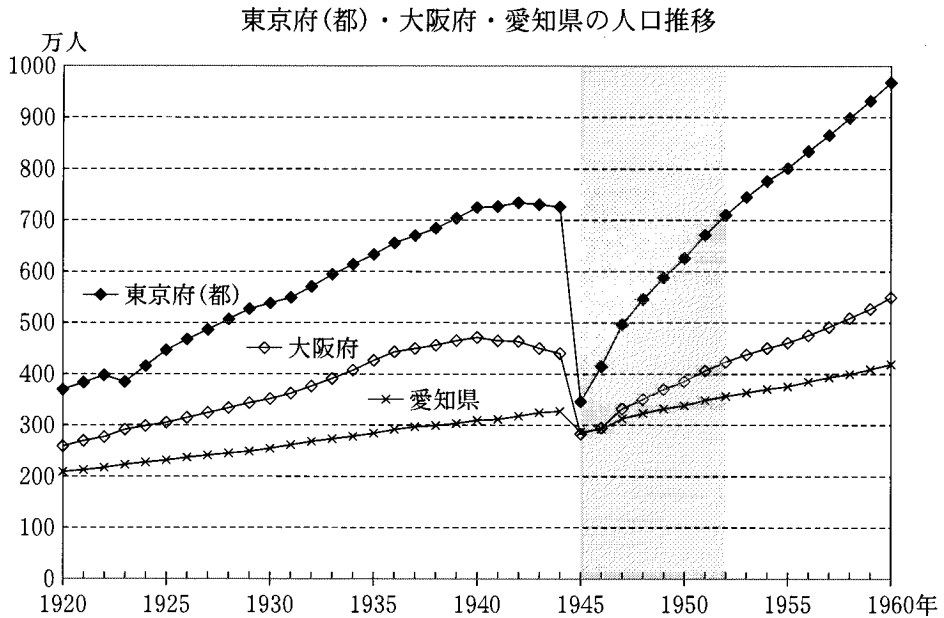
X 日本最初のテレビ放送が開始された。

Y 日本最初のラジオ放送が開始された。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

日本史B

B 次のグラフは、東京府(都)・大阪府・愛知県の人口の推移を、1920年から1960年までの40年間について整理したものである。




(総理府統計局『日本の推計人口』(1970年)より作成)

(注) 東京府は1943年から東京都となった。

問 4 このグラフに関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 1945年における人口減少の背景には、戦災による都市の破壊がある。
- ② 1945年における東京都の人口減少は、1920～44年の増加分に匹敵する。
- ③ 太平洋戦争期の大阪府の人口は、減少傾向にある。
- ④ 東京都・大阪府は、1950年代を通じて戦前の人口水準を回復していない。

問 5 グラフに示した  の占領期の出来事に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 33

X 引揚者の帰国があいついだ。

Y 農村の過疎化と都市の過密化が進んだ。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史B

C 1950年代半ばから20年近く続いた高度経済成長のなかで、日本列島の 側に、ベルト状の巨大な重化学工業地帯が形成され、産業と人口の著しい集中が生じた。一方、その他の地域では、㉞ 既存の産業構造の変容が進み、地域社会の状況は大きく変化した。

また各種の家庭電化製品や などの耐久消費財が、国民の間に広く普及するなど、高度経済成長の影響は多方面におよび、㉟ この時期を通じて社会のあり方は大きな変貌^{へんぼう}を遂げることとなった。

問 6 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | |
|---------|----------|
| ① ウ 太平洋 | エ 自家用車 |
| ② ウ 太平洋 | エ コンピュータ |
| ③ ウ 日本海 | エ 自家用車 |
| ④ ウ 日本海 | エ コンピュータ |

問 7 下線部㉞に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 専業農家戸数が兼業農家戸数を上回るようになった。

Y 石油へのエネルギー転換によって石炭産業が衰退した。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

問 8 下線部①について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① 団地とよばれる集合住宅がつぎつぎと生まれた。
- ② 大規模な設備投資により、技術革新が進んだ。
- ③ 貿易と資本の自由化が進み、開放経済体制への移行がはじまった。
- ④ 女子工場労働者の深夜労働が広まり、それを禁止する法律が制定された。

問題と解答は、独立行政法人 大学入試センターホームページより転載しています。
ただし、著作権上の都合により、一部の問題・画像を省略しています。

日本一の学校情報



<http://www.js88.com>

インターネット塾・予備校情報サイト



<http://jyuku.js88.com>